

地域開発におけるポテンシャル・

グラビティーモデルの適用について

——西瀬戸内開発構想を中心に——

日 隈 健 王

は じ め に

近年の日本経済の成長率は二位西独を大きく引き離して成長をつづけてきた。

しかし反面、この成長は日本経済に大きな構造変化をもたらし、第1次産業から第二次産業へ、第二次産業から第三次産業へと人口が移動し、それは結果として農村から都市への人口集中の現象となって現われた。

なお昭和40年代の後半の現在、伸びつづける経済成長の中で都市と農村との問題、あるいは大きく全国的な地域格差はどのように進展していくのが重要な課題となっている。この小論文では対象を西瀬戸内地域において進めていきたい。

1 地 域 格 差

地域格差の是正という言葉は、いわば地域開発の最も重要な課題とされているが、内容は今だにどうも明確にはなされていないのが現状である。

地理的な概念で地域、いわゆる生活空間（エクメーネ）をとらえた場合、地表における人類の生存可能な範囲を意味するものである。それは言い換えると、エクメーネは自然の生態系の一部として、また人工的な（社会、文化的）生態系の一部として生活を維持していくにふさわしい環境を有する地理的範囲を意味している。

この考え方に基づいて歴史的にかえりみると、二つのエクメーネの存在がある。

- (1) ムラのエクメーネ……自給経済を原理
- (2) マチ的エクメーネ……交換経済を基礎にしてその生活を維持

都市化とは、ムラのエクメーネからマチ的エクメーネへの人口の移動、その結果としてのマチ空間の相対的拡大として理解することができる。

また、さらにわが国の都市化過程は中央と地方という支配従属の関係で進展してきたこともみのがせない。支配する中央地域は超都市的エクメーネとして成長し、これらの空間内で

は都市はすでに独立して存在するのではなくて密接な相互関係によって結びつき、巨大な力を発揮し、太平洋メガポリスとして面的に広がった地域空間を形成されている。これに対して従属される地方地域空間は点的に個々の市場圏をもつ個体にすぎない。

こう考えてくると両者の競争の結果は自ら明らかであり、例えば、西瀬戸内地域に散在している都市が今後どうなっていくかはわかりきっている。これらに含まれる各都市の関連についての選択の問題ではなくて、そうなることをどう考えるかということである。これらの各都市の結びつき、広がりとは趨勢であってビジョンではない。放っておいてメガポリス化するし、これは資本の論理であって、この動きは法則性を有している。

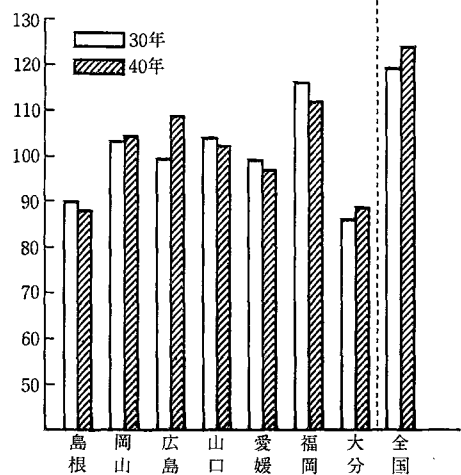
こう考えてくると、それでは今後の地域開発はどういう視点で行わねばならないか、「工業を地方に立地誘導しさえすれば、その地方は栄え、それによって地域住民の生活は充実する」といった過去の考え方では片面的といえる。

ひとくちに地域格差といっても自然条件の差、歴史的な格差、風俗社会的な格差、あるいは経済的集積の格差などあげられるが、地域格差の是正、として是正されなければならない格差は経済的なものが最も重要なものであろう。

その中で最もわかりやすいものが、各地域の所得の差（一人当たり所得）である。第1表はこれをまとめたものであるが、実態を把握するには県別で出してもあまり意味がなく、つまり、第2表のように山口県に住んでいて広島県に通勤しているサラリーマンの所得が分かれて出るからである。そういう意味で全国表は全国を13地域に分けた方が妥当性がでている。

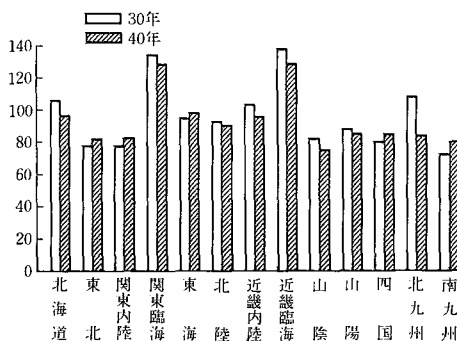
第2表 西瀬戸内圏所得格差

（7県平均を100としたもの）



第1表 所得の地域格差

（全国平均を100として）



第2-1表

		30		40	
全	国	78,382	118.7	249,152	124.6
島	根	59,742	90.5	174,574	87.3
岡	山	68,166	103.3	209,422	104.7
広	島	65,891	99.8	217,185	108.6
山	口	68,882	104.3	205,440	102.7
愛	媛	65,801	99.7	193,084	96.5
福	岡	76,554	116.0	223,480	111.7
大	分	57,087	86.5	177,001	88.5
地 域 計		462,123		1,400,186	

第1表と第2表とを比べて地域構造をみみると、全国的には先進地域と後進地域の差はいくらか縮小しているが、第2表でとるかぎり、新工業地帯の岡山・広島が伸び島根・愛媛は低下している。特に福岡県はこの30年から40年にかけてのエネルギー革命の影響をまともにうけている。それにしてもこの経済高度成長の10年の間、地域構造変化も激しかったわけであるが、全国的なレベルでみると関東臨海、近畿臨海が低下し、地域格差が拡大しつづけたという印象はない。しかし、さらに格差を是正するためには、既存工業地帯（神奈川・兵庫）のほかに山口、広島、千葉といった新工業地帯が勃興してくると、地域間格差は是正されるであろう。同じことが西瀬戸内圏においても言える、第2表でみるかぎり、大分に新工業地帯が勃興してくると地域間格差が縮小されよう。これらの見地からしても、瀬戸内西端、周防灘、伊予灘、別府湾、豊後水道を一体とする地域の総合開発は重要性を有している。

2 過 密 問 題

高度経済成長は地域の構造を大きく変え、先記にも述べたように、大都市への人口と産業の集中をもたらした。それら大都市は政治・経済・文化の諸機能を集中させ、雇用機会に恵まれ、情報も得やすく、生活の便利さは企業にとっては大きな市場となつてますます人口が集まってくることによって得られる。いわゆる「集積の利益」を求めていったら集中が進むという累積的な拡大のメカニズムが働いている。

次頁の第3表からも明らかなように太平洋ベルト地帯への人口移動は25年後もつづくであろうと答えた日本人の平均的なハイオニアが83.2%、それ以外の移動としても地方都市と答えた人が92.0%というように圧倒的に大都市地域はますます拡大していく傾向を有している。

第3表 25年後の国民生活都市化についての調査

	総 計 (人)	計 (%)	学 者 (%)	エ コ ノ ミ ス ト (%)	政 治 家 (%)	組 合 指 導 者 (%)	経 営 者 (%)
① どの地域へ人口移動がみられるか							
a. 太平洋ベルト地帯	129	83.2	86.4	87.5	65.2	81.8	88.6
b. 太平洋ベルト地帯以外の地域	26	16.8	13.6	14.3	34.8	18.2	11.4
② aに移動する理由							
1. 雇用機会に恵まれている	87	35.5	33.3	35.2	44.4	37.5	33.9
2. 生活上便利	34	13.9	16.7	11.3	11.1	16.4	15.3
3. 人間関係上わずらわしくない	10	4.1	2.8	11.3	0	0	0
4. 文化的魅力がある	23	9.4	6.9	12.7	11.1	6.3	8.5
5. 就学機会に恵まれている	3	1.2	2.8	1.4	0	0	0
6. 余暇利用に便利	2	0.8	0	0	0	6.3	1.7
7. 情報が集中して仕事が便利	83	33.9	37.5	26.8	29.6	37.5	39.0
③ ベルト地帯以外どこへ移動するか							
1. 現在の地方都市とその周辺	23	92.0	66.7	100.0	100.0	100.0	100.0
2. 現在の農村地帯	2	8.0	33.3	0	0	0	0
④ bに移動する理由							
1. 雇用機会が増加しているから	16	32.7	33.3	36.4	43.8	33.3	0
2. 公害、交通難、住宅難	21	42.9	41.7	27.3	50.0	33.3	57.1
3. 文化水準の格差が縮小している	9	18.4	16.7	27.3	6.3	0	42.9
4. 人間関係が細やかである	0	0	0	0	0	0	0
5. 自然に恵まれている	1	2.0	8.3	0	0	0	0

出所：日本経済新聞，昭和45年7月27日

ところがこうした産業と人口の集中は，それらの大都市に多くの問題をもたらしてきたのである。その一つが，無秩序に郊外に広がっていく居住地のいわゆるスプロール化である。

アーバン・スプロールは無秩序に近郊に広がるために市街地としての骨組みである都市施設の整備が長期的な立場で計画できないという大きな弊害をもっているし，さらに無秩序なるがゆえに都市の機能を悪くし，生活環境もおのずと悪くならず得ないのである。

しかし，このように過密の弊害にもかかわらず産業や人口が大都市に集中し，これからも拡大しつづける傾向にあるのは，集積の利益がそれら過密による生活環境の悪さを補うものをもっていたからである。

近年になって，この集積の利益を上廻る過密の弊害として公害問題などが重要視されはじめた。

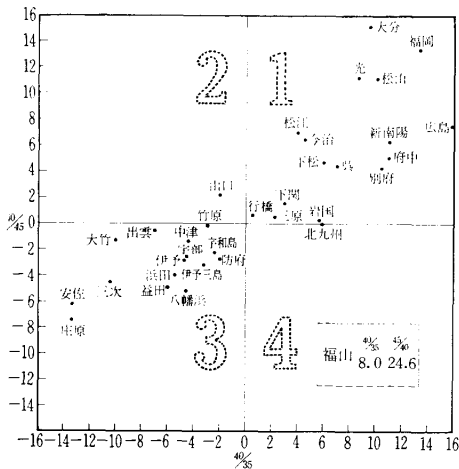
これまで述べてきたように，大都市集中の弊害がでてくると，それを防止するための集中を抑制し，産業や人口の地方分散を図り，そうすることによって国土資源の最適配分を実現し均衡のとれた開発を計ることが当然考えはじめられた。これが，いわゆる地方分散論であり，拠点開発方式であり，後の新産都市建設となったわけであるが，これらの努力にもか

かわらず、その後も地方への人口、産業の分散は成功せず、大都市地域への集中は進んでいる。

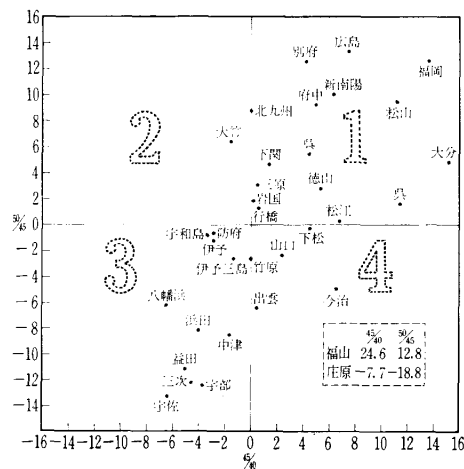
その反省として出てきたものが、過密の弊害（交通難・住宅難・公害）をどうするか、そのためにはまず、社会資本を整備・充実することであり、高速道路や地下鉄・モノレールが大都市の交通難緩和に大いに有効であるとするような流れに逆わないで、民間のエネルギーも動員する考え方に変わってきた。

そこで、西瀬戸内圏を考える場合も、先記で述べたように、点的に散在している都市が面的な広がりを見せはじめ、西瀬戸内大規模開発に伴ってメガロポリス化することは趨勢であり、この動きの法則性もかなり妥当性がある。さらに、これら含まれている都市をどうするか、効率的な投資はどうか、効率的な都市相互の結びつきをどうするかを考えなくてはならない。

第1図 西瀬戸内圏都市人口の増減率の比較



第2図 西瀬戸内圏都市人口の将来増減率の比較



そこでまず、西瀬戸内地域は将来どのような方向で変化していくか、今後、交通、通信の発達によって人口の中央部への激しい集中がつづくことは先記にも述べたが、それはすべての都市が膨張するのではない。例えば第2図の第1象限の別府などのように観光の機能を中心に都市が発展したところや、呉、新南陽、府中、下松のように、すでにかんがりの程度の工業の集積があるところは安定した成長がみられるが、単一の機能をもたない複合都市では一定規模の人口（10万以下）がなければ減少の一途をたどっていることがわかる。同図からは圏域の将来人口が相対的に増加していくことも同時に観察することができる。

第4表 西瀬戸内圏人口数値及び将来推計値

	40	45	40/35	45/40	50	50/45
松江	110,534	118,005	3.8	6.8	113,900	- 0.1
浜出	51,483	49,407	- 5.5	- 4.0	45,000	- 8.1
出雲	68,773	69,078	- 0.7	0.4	64,700	- 6.7
益田	52,729	50,071	- 5.9	- 5.0	44,500	-11.1
広島	504,245	541,998	16.9	7.5	621,600	13.4
呉	225,013	235,193	7.1	4.5	248,800	5.5
竹原	35,018	35,017	- 3.9	0	35,900	- 2.8
三原	82,185	82,621	2.2	0.5	87,800	3.0
福山	204,768	255,086	8.0	24.6	281,800	12.8
府中	45,341	47,651	11.4	5.1	52,600	9.2
三次	37,871	36,169	-10.2	- 4.5	33,100	-12.3
庄原	26,515	24,464	-13.5	- 7.7	20,300	-18.8
大竹	38,145	39,637	10.4	- 1.3	40,400	6.3
下関	254,376	258,425	3.0	1.6	274,000	4.1
宇部	158,986	152,935	- 4.6	- 3.8	132,900	-12.4
山口	98,977	101,041	- 2.9	2.1	99,200	- 2.3
徳山	93,472	98,520	7.0	5.4	102,100	2.9
防府	94,342	97,009	- 0.2	- 2.8	97,600	- 0.6
下松	47,401	49,627	6.0	4.7	49,600	- 0.2
岩国	105,931	106,116	5.6	0.2	107,300	1.9
光	40,916	45,716	8.8	11.7	46,100	1.7
新南陽	30,455	32,352	11.3	6.2	35,500	11.0
松山	290,662	322,902	10.9	11.1	355,900	9.5
今治	104,470	111,125	4.4	6.4	103,400	- 5.0
宇和島	66,484	64,262	- 2.4	- 3.3	64,600	- 0.6
八幡浜	50,005	46,903	- 4.8	- 6.2	44,500	- 6.3
伊予三島	38,630	38,071	- 3.3	- 1.4	37,200	- 2.7
伊予	28,611	27,769	- 4.8	- 2.9	28,300	- 1.2
北九州	1,012,388	1,042,319	5.7	- 0.0	1,166,800	8.3
福岡	749,808	853,271	13.4	13.8	929,700	12.7
行橋	47,495	47,843	0.7	0.7	50,300	1.2
大分	226,417	260,584	9.3	15.1	261,400	4.9
別府	118,938	123,786	10.4	4.1	163,400	12.5
中津	58,371	57,461	- 5.3	- 1.6	50,500	- 8.4
宇佐	55,370	51,942	-11.3	- 6.2	45,800	-13.2
	5,255,114	5,572,376			5,936,800	

3 西瀬戸内圏

工業生産機能のうち規模の利益を求めて大規模な投資を必要とする分野では、地価の上昇、公害発生に対する負担の増加などで大都市の有利性が失われている。これに加えて道

路、鉄道、港湾、通信施設などの整備によって、遠隔地域の不利性といったものが徐々に解消されて、近年、工業立地は大きく変化してきている。

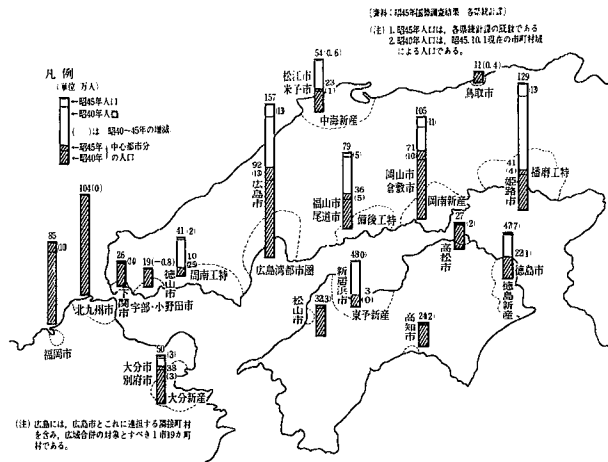
労働力余力を近郊にひかえた大都市周辺は今後も膨張していくであろうが、公害発生を併う工業、とくに石油化学などの臨海装置型工業はかなり地方都市に分散してきたが、現在ではそこでも限界に達しているが、西瀬戸内の場合大規模石油精製基地に適していることから、瀬戸内西端、周防灘、伊予灘、別府灘、豊後水道を一体とする地域の総合開発を構想とするものでなければならないし、将来の原油の輸入量が現在の約5倍（5億KL）に及ぶことから、基地としては宇部、徳山、岩国、松山、大分が中核となり、更に宇和島湾、宿毛湾が加わり各地域の各工場間をパイプラインで連絡することによってコンビナートを形成するものでなくてはならないし、さらに、西瀬戸内地域圏の都市構想としては、中四国連絡橋を含む、近畿、中国、四国、九州を結ぶ主要交通幹線を建設するなかで広島、福岡の中核管理機能都市、あるいは松山市、岡山市、山口市、松江市等の中核都市はそれぞれの特性に応じ機能的な施設整備を進めなければならない。

特に、広島—愛媛—大分—福岡—山口を結ぶ環状ルートを軸にした西瀬戸内広域経済圏を念頭においたものでなくてはならない。また、近い将来の中国あるいはソ連への貿易を考えるならば島根は中国地域への食糧基地としても大きな役割を担わねばならないであろう。

第3図 西瀬戸内海地域開発 昭和47年度重点事業計画概要図



第4図 中・四国地方主要拠点別人口分布図



4 具体的な政策のための操作可能な手段

今日ひんぱんに、“都市のもつ実力”，“都市のもつ成長余力”といったものが言われ、使われているが、それらはそれなりに妥当性もあり開発のための資料となっているが、具体的に操作する総合化された都市の指標とはなりえていない。例えば、西瀬戸内圏域では広島県は都市のもつ“実力”は全国で13位であるが、都市のもつ“余力”としては全国61位である。ということは、これ以上の成長は都市化余力としてのスペースの狭さが原因であるから広域合併の促進という形で打開できるであろうし、さらに原因である工業関係余力の不足も臨海部の埋立て、あるいは機械工業の農村部への移動ということである程度は解決できる部分もあるが、これらの“実力”，“余力”の資料からは、西瀬戸内工業開発として工場が張り付いた時、あるいは中枢管理機能都市としての広島、福岡への集積はどこからおこなわれるのかあるいは集中する可能性があるのかが判断できない。もっと具体的には、“余力”が全国の5位である岡山での工業開発のための労働力は一体どこからくるのか、その可能性を有している地域はどこかということは見当がつかないし、操作することができないから、全体としての西瀬戸内のバランスを念頭に置いた政策が組めないために、資本の論理としての、いいかえると投資量からくる趨勢としてのメガポリス化として予測する他はない。

そこで、西瀬戸内開発を考える場合、“開発（成長）余力”のある地域（都市）を調査すると同時に、労働力としての「人口移動余力測定」も行わなければならない。仮に、周南工業都市圏に対しては西瀬戸内圏内のどの地域からの労働力人口の集中があるか、中海工業都市圏の場合はどうか、ということをも、各市町村についてその地域の総合指標を距離（物理的距離・各輸送機関の所要時間・料金）と、人口構成（第1次、第2次、第3次）、さらには

地域内の所得格差，等を編込んでその市町村のもつ総合指標を作り，構想に対するパターンの変化を観る必要があるし，これらの指標を用いてバランスのとれた産業立地，開発構想を組むことが必要である。そのために「人口移動余力測定」を構想の前提条件として備える

第17表 都市の成長余力と実力

		総 順		実			力		余		力		
		合		上額	商額	人口	得点	順	上余	商余	都余	得点	順
		点	位	業出荷数	業販売数	集中度	合計	位	業開発数	業発展数	市化数	合計	位
東京	鳥取	405.3	1	100.0	100.0	100.0	300.0	1	0.7	100.0	4.6	108.5	9
		52.1	39	0.8	0.2	0.7	1.7	85	15.5	1.1	33.8	50.4	35
松江	岡山	31.4	62	0.3	0.3	0.8	1.4	86	1.4	1.1	27.5	30.0	55
		126.6	10	4.1	1.6	2.5	8.2	24	32.7	4.3	31.4	118.4	5
倉敷	広島	102.8	11	11.9	0.8	1.8	14.3	15	35.0	3.3	49.5	88.3	10
		37.4	56	5.1	4.7	5.7	15.5	13	9.7	5.3	6.9	21.9	61
呉	山陽	39.6	51	4.6	0.4	2.3	7.3	32	3.6	2.4	24.3	32.3	52
		75.5	20	5.1	0.7	1.5	7.3	32	24.7	2.2	41.3	68.2	20
福山	山口	50.2	41	2.5	0.7	2.2	5.4	49	36.4	2.2	6.2	44.8	39
		6.2	86	2.0	0.1	0.5	2.6	79	0.5	0.8	2.5	3.6	86
徳島	高松	55.7	34	1.3	0.6	1.6	3.5	67	15.1	2.0	35.1	52.2	32
		36.0	38	2.2	1.6	1.9	5.7	45	2.7	2.1	25.1	30.3	54
松山	高知	48.8	44	3.1	0.7	2.1	5.9	43	8.7	3.2	31.0	42.9	42
		25.1	70	1.2	0.6	2.1	3.9	65	0	2.6	18.6	21.2	64
北九州	福岡	145.2	7	15.5	2.5	19.0	28.0	8	36.9	8.5	71.8	117.2	7
		89.4	14	3.4	4.8	8.2	16.4	12	30.5	6.2	36.3	73.0	16
佐賀	長崎	26.9	65	0.6	0.5	1.0	2.1	83	4.8	0.9	19.1	24.8	59
		51.8	40	2.7	1.0	3.6	7.3	32	3.9	3.3	37.3	44.5	40
佐世保	熊本	54.9	36	1.1	0.4	1.7	3.2	69	4.1	2.0	45.6	51.7	34
		48.2	46	1.3	1.3	3.7	6.5	37	3.2	2.5	27.6	38.7	48
大分	宮崎	87.2	15	2.5	0.5	1.5	4.3	62	11.9	1.9	69.1	82.9	13
		41.7	53	0.3	0.5	1.3	2.1	83	2.5	1.8	35.3	39.6	47
鹿児島		71.0	22	1.0	1.2	3.5	5.7	45	10.5	3.6	51.4	65.3	22

□項目別指数□ 「実力」「余力」の各項目ごとに実数の最も大きい都市を100とする指数を求めて，各都市の持つ力の大きさを比較した。「実力」では工業出荷額，商業販売額，集中地区人口とも東京がトップで，東京＝100とした各都市の割合をそれぞれ「工業出荷額指数」「商業販売額指数」「人口集中度指数」とした。「余力」では，工業開発面積のトップが名古屋，商業発展余力額は東京，都市化余力面積は札幌となった。したがって，「工業開発余力指数」は名古屋＝100，「商業発展余力指数」は東京＝100，「都市化余力指数」は札幌＝100とする割合を各都市の指数とした。

□総合得点□ 「実力」と「余力」の合わせて6項目の指数を都市ごとに単純合計して総合得点とした。また「実力」，「余力」別に3項目ごとの合計得点も出し，総合得点の内訳とした。総合得点は600点満点になる。

□実数□ 各項目の指数1.0当たりの実数は①工業出荷額＝657億円 ②商業販売額＝5.457億円 ③集中地区人口＝87,931人 ④工業開発余力面積＝55ヘクタール ⑤商業発展余力額＝278億円 ⑥都市化余力面積＝480ヘクタール

必要がある。

さらに具体的に述べるならば、あらかじめ西瀬戸内圏域内の各市町村について、広島を中心とした場合のある総合化された指標を作っておくと、開発拠点をどこへ移そうとも、あるいは、各開発拠点についてにの総合指標をつかって、関連事業項目の費用・便益予測にまでつなぐことができる。

例1 A町の場合の総合指標カード

1 0 0 1	0 0 0 5 0	0 0 0 4 0 0 n
A町番号	広島までの距離	A町の所得	その他

B村の場合

1 0 0 2	0 0 0 3 5	0 0 0 3 5 0 n
B村番号	広島までの距離	B村の所得	その他

というように、圏域すべての総合指標カードを作成する

例2 さらに、適用するモデル式についての検討として、

- (i) ポテンシャル $\frac{R_j}{d_{ij}}$: j 地区が i 地区に及ぼす潜在的影響力
- (ii) グラビティ $\frac{R_i R_j}{d_{ij}^2}$: i, j 地区間の引力（相対的結合度）
- (iii) エネルギー $\frac{R_i R_j}{d_{ij}}$: i, j 地区間の i 地区の絶対的吸収力

記号

π_i : 自地域のポテンシャル

R_j : 他地域の総合指標

R_i : 自地域の総合指標

d_{ij} : 他地域までの経済距離

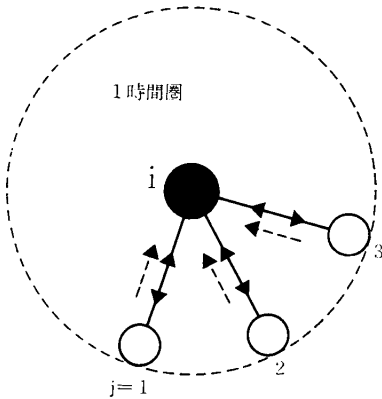
d_{ii} : 自地域内の経済距離

仮定

- (1) 地域間の所得格差は是正する方向に動く。

次の図で示すような i 地区の周辺に $j=1, 2, 3$ の地区が配置されていると、図において点線で示した方向で考えられるのが 1, 2, 3 の地区から i 地区が受ける潜在力でポテンシャルをあらわし、(i) 式で与えられる。

例えば、1, 2, 3 地域にかなりの業務地が存在し昼間就業者数がいずれも多く、距離もほぼ一定である場合、 i 地は住宅地のポテンシャルが高いことを示す。



(ii) 式のグラビティーは i, j 間 ($j=1, 2, 3$) において、それらの間の力関係、流量を示すものである。

(iii) 式は、エネルギーの概念を示し、第5図は広島市などのような拠点性を有し、質量の大きな都市を中心にポテンシャル及びエネルギーの総計（それぞれ式で表わせば、 $R_i = \sum_j (R_j/d_{ij})$ 及び $E_i = \sum_j (R_i R_j/d_{ij})$ ）をプロットした場合の曲線である。

例3 実際に用いる式

$$\text{潜在力 } R_i = \sum_j \frac{R_j}{d_{ij}} + \frac{R_i}{d_{ij}} \quad \dots\dots\dots(1)$$

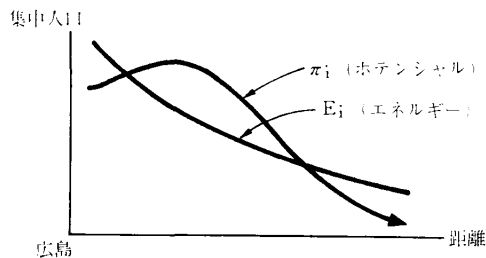
$$\text{吸引力 } E_i = R_i \sum_j \frac{R_j}{d_{ij}} \quad \dots\dots\dots(2)$$

都市が圏内市町村に及ぼす影響力

$$R_i^E = \frac{R_1}{d_{i1}} + \frac{R_2}{d_{i2}} \quad \dots\dots\dots(3)$$

また、これには再考する余地が多分に残している。例えば、距離は単純にある間隔で集中、分散は計れない。なぜならば一時間（約50キロ）域内では生態的に抵抗はないが、それであれば、同じ所得格差、文化面での格差では集中、分散の力は働かないであろうから、下記のような曲線から距離による移動可能な評価値を作り変えなければならない。

第 5 図



さらに、距離には各輸送機関（バス・電車）から作られる一つの指標、それらに各々所要時間と料金を加味させた、距離概念を作らねばならないことである。これは、ここでは建設省が中四国連絡架橋建設地決定計算の際使った式^(注)を用いて、

注) 建設省「地域経済計画モデル」S.45.6. pp.28~29 参照

例えば、ある路線（交通機関の別も含む）に従って輸送を行う際、利用者が支払わなければならない犠牲量は輸送の料金と所要時間により次式で与えられる。

$$S_i = C_i + \omega T_i \quad \dots\dots\dots(1)$$

S_i : i 路線（又は交通機関 i ）の犠牲量（円/人）

C_i : i 路線（又は交通機関 i ）の料金（円/人）

T_i : i 路線（又は交通機関 i ）の所要時間（時）

ω : 時間評価値（円/時・人）

仮に、調査拠点間に A, B の 2 機関が存在するものとする、両機関の犠牲量はそれぞれ、

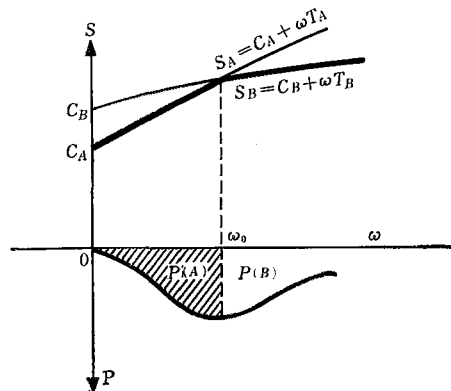
$$S_A = C_A + \omega T_A \quad \dots\dots\dots(2-A)$$

$$S_B = C_B + \omega T_B \quad \dots\dots\dots(2-B)$$

となり、選択者は A, B 両機関の犠牲量を自己の時間評価値にてらして比較し、犠牲量の小さい機関を選択するものとする。

下の図はこの関係を示したものであり、0 を起点として、タテ上方を犠牲量、ヨコに時間評価値、タテ下方に分担率をとり、第一象限には犠牲量と時間評価値の関係を、第四象限には時間評価値と分担率の関係を示す。

第 6 図



(2-A), (2-B) 式から、距離（経路距離） d_{ij} は次式のようにになる。

$$d_{ij} = \frac{S_A \cdot P_A + S_B \cdot P_B}{P_{(A)} + P_{(B)}} \quad \dots\dots\dots(3)$$

$$d_{ij} = P_A \cdot S_A + (1 - P_A) S_B \quad \dots\dots\dots(4)$$

i 地点と j 地点との距離 d_{ij} における A, B 両機関の犠牲量が等しくなるのは ω_0 のときであり、 ω_0 よりも時間評価値の小さい選択者は輸送機関 A を選択し、 ω_0 よりも大きい選択者は輸送機関 B を選択するので、 A 機関を選択する分担率は図の斜線部分であり、 B 機関を選択する率は空白の部分で表わされる。

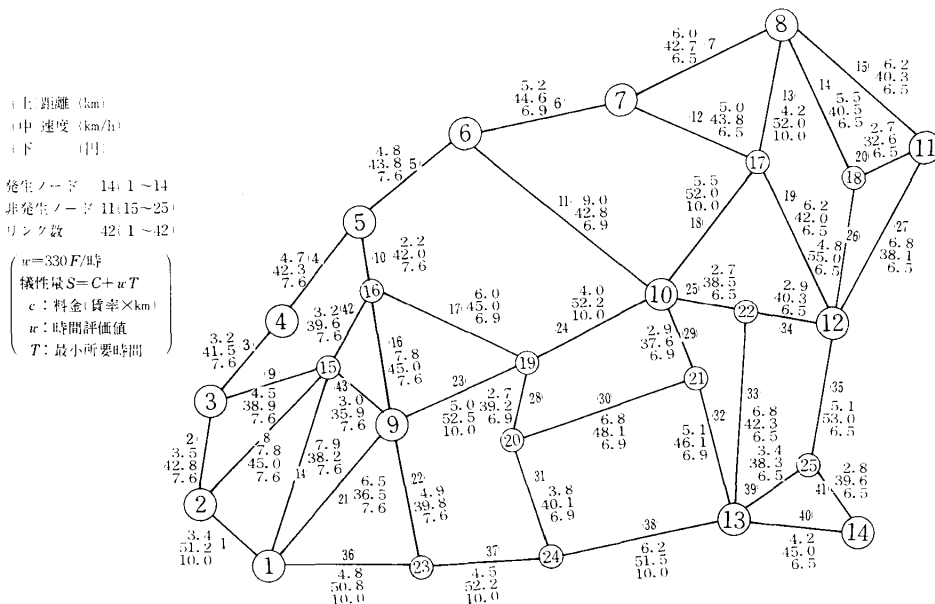
また、時間評価分布は旅客の交通機関別輸送量と輸送時間及び費用の実績から求められるが、ここでは本州四国連絡橋の経済調査で求められた^(注)40年度の実績による平均値、すなわち1時間1人当り330円を時間評価値 ω として一律に用いる。

更に指標に含まれる要因である人口についても、第1次就業人口、第2次就業人口、第3次就業人口、というようにその地域のもつ就業構造として組入れなければならないし、所得にしても、所得格差からくる人口移動というこれを前提にしている以上、それについての概要として数値を作らねばならない。

以上のようにして、広島市を中心とした場合の各市町村の総合指標を作成し電算機に記憶させておけば、開発拠点を周防灘として、その産業構造を推計するとそれに対して、それまでの距離の数値を入れ換えるだけで、西瀬戸内圏域の都市パターンの変化が想定できるのである。

このように、開発構想を策成する場合にはそれら関連地域のもつポテンシャルを測定することが非常に意味をもってくるのである。

第7図 経済距離算定テスト用モデル



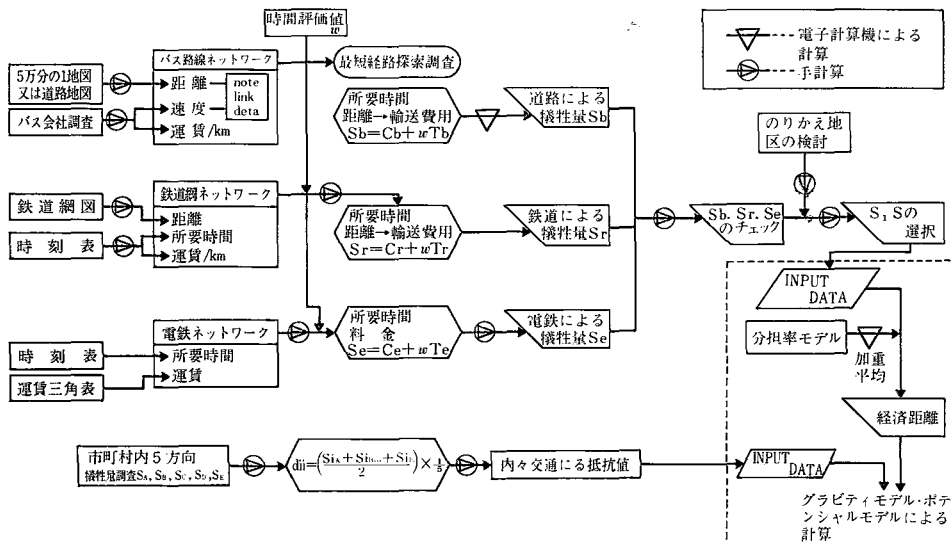
第7—1表

N O D E	結 合 数	発非 発 生	N O D E	L I N K	N O D E	L I N K	N O D E	L I N K	N O D E	L I N K	N O D E	L I N K
1	4	1	2	1	9	21	15	14	23	36		
2	3	1	1	1	3	2	15	8				
3	3	1	2	2	4	3	15	9				
4	2	1	3	3	5	4						
5	3	1	4	4	6	5	16	10				
6	3	1	5	5	7	6	10	11				
7	3	1	6	6	8	7	17	12				
8	4	1	7	7	11	15	17	13	18	14		
9	5	1	1	21	15	43	16	16	19	23	23	22
10	5	1	6	11	17	18	19	24	21	29	22	25
11	3	1	8	15	12	27	18	20				
12	5	1	11	27	17	17	18	26	22	34	25	35
13	5	1	14	40	21	37	22	33	24	38	25	39
14	1	1	13	40	25	41						
15	5	0	1	14	12	8	3	9	9	43	16	42
16	4	0	5	10	9	16	15	42	17	17		
17	4	0	7	12	8	13	10	18	12	19		
18	3	0	8	14	11	20	12	26				
19	4	0	9	23	10	24	16	17	20	28		
20	3	0	19	28	21	30	24	31				
21	3	0	10	29	13	32	20	30				
22	3	0	10	25	12	34	13	33				
23	3	0	1	36	9	22	24	37				
24	3	0	13	38	20	31	23	37				
25	3	0	12	35	13	39	14	41				

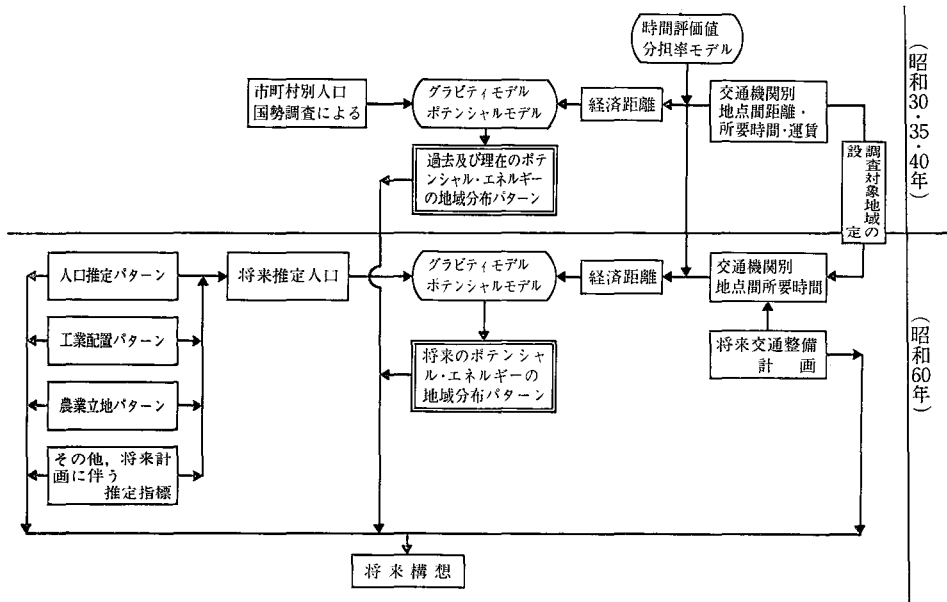
第7—2表

距 離	1	3.4	3.5	3.2	4.7	4.8	5.2	6.0	7.8	4.5	2.2	9.0	5.0
	2	4.2	5.5	6.2	4.5	6.0	5.5	6.2	2.7	6.5	4.9	5.0	4.0
	3	2.7	4.8	6.8	2.7	2.9	6.8	3.8	5.1	6.8	2.9	5.1	4.8
	4	4.5	6.2	3.4	4.2	2.8	3.2	3.0					
速 度	1	51.2	42.8	41.5	42.3	43.8	44.6	42.7	45.0	38.9	42.0	42.8	43.8
	2	52.0	40.5	40.3	30.2	45.0	52.0	42.0	32.6	36.5	39.8	32.5	52.2
	3	38.5	55.0	38.1	39.2	37.9	48.1	40.1	46.1	42.3	40.3	53.0	50.8
	4	52.2	51.5	38.3	45.0	39.6	39.6	35.9					
質 率	1	10.0	7.6	7.6	7.6	7.6	6.9	6.5	7.6	7.6	7.6	6.9	6.5
	2	10.0	6.5	6.5	7.6	6.9	10.0	6.5	6.5	7.6	7.6	10.0	10.0
	3	6.5	6.5	6.5	6.9	6.9	6.9	6.9	6.9	6.5	6.5	6.5	10.0
	4	10.0	10.0	6.5	6.5	6.5	7.6	7.6					

第7-3表 経済距離算定の手順



第7-4表 都市化の展望検討作業フローチャート



5 将来の都市

前章までは“生産面”からの地域問題を論じてきたのであるが、5章では“生活面”からの都市、あるいは地域が将来どう変わるかを考えてみたい。

この場合の推定のしかたにはいろいろあるが、そこでは都市生活者の意識の変化を先ず考えて、私的消費（個々人や個々の家庭の消費）面と社会的消費（道路、住宅、公園）面における将来の問題を推測しなければ学らない。

第18表 25年後の国民生活アンケート調査

	総 (人)	計 (%)	学 者 (%)	エコノ ミスト (%)	政治家 (%)	組 合 指導者 (%)	経営者 (%)
<生活環境関係>							
① 生活環境で不十分なものは							
(a) 公 園 や 緑 地	102	22.9	26.6	23.1	19.0	18.2	22.3
(b) 遊園地、レジャー施設、図書館	10	2.3	1.6	1.7	6.3	0	1.9
(c) 道 路	32	7.2	8.6	8.5	3.2	6.1	6.8
(d) 交 通 機 関	16	3.6	3.1	4.3	3.2	12.1	1.0
(e) 住 宅	53	11.9	9.4	9.4	19.0	15.2	12.6
(f) 公 害	106	23.9	20.3	23.9	25.4	27.3	26.2
(g) 上 下 水 道	30	6.8	9.4	4.3	6.3	3.0	7.8
(h) 災 害 対 策	59	13.3	10.9	12.0	14.3	15.2	16.5
(i) 地域冷暖房対策	36	8.1	10.2	12.8	3.2	3.0	4.9
<生きがい>							
① 国民は何に生きがいを感じるか							
(a) 仕 事	79	26.1	23.5	26.5	22.2	30.0	30.0
(b) 所 得、財 産	15	5.0	3.5	4.8	6.7	5.0	5.7
(c) 趣 味	44	14.5	11.8	12.0	20.0	15.0	17.1
(d) レ ジャ ー	56	18.5	16.5	21.7	15.6	15.0	20.0
(e) マ イ ホ ー ム	44	14.5	16.5	16.9	13.3	25.0	7.1
(f) 社 会 奉 仕	10	3.3	3.5	3.6	2.2	0	4.3
(g) 信 仰	0	0	0	0	0	0	0
(h) 政 治 活 動	0	0	0	0	0	0	0
(i) 出世、社会的名誉	18	5.9	10.6	3.6	8.9	0	2.9
(j) 自 己 啓 発	27	8.9	5.9	7.2	11.1	10.0	12.9
(k) 享 楽	8	2.6	7.1	2.4	0	0	0

日本経済新聞社、昭和45年7月27日

およそ25年後になっても、全国的に上記の不満、要求は達成できず残るものであろうが、以上のような要望を前提にして、私的消費生活面から分析する。

今後所得の上昇に併って個人消費はさらに高度化してくるであろうことが先ず予想され

る。昭和60年における個人消費支出は、経済審議会地域部会の推計によれば、下表の通りで、エンゲル係数が低下し、消費構造の高度化がみられる。とくに耐久消費財を含む家具備品や交通通信、レクリエーション、その他のサービスの家計支出による比重が増大する。

以上第18表のような意識の変化、第19表のような消費の高度化の結果、レジャーのための空間の確保が課題となり、公園、スポーツ施設などの提供がさらには日常の余暇がふえてくる。

こうした私的消費の変化に伴って、社会的費用の面ではどのような変化が起ってくるかという、通勤、住宅、公園について考えてみると、通勤、通学難は今後ことに都市に人口が集中する傾向を残している以上、それを分担する輸送機関の改善構想を打出してみても、理想的な体制になれる見込みはない。住宅にいたっては、住宅の質、量ともに不足していること、地

価の高騰で将来快適な生活環境を整備、それだけの空間を持つというまでには現在の大都市では近い将来の達成は困難であろう。更に公園については、受益者負担という形で実現させる他にはない。

ここで述べてきたことは大都市の将来について展開してきたものであって、経済成長と西瀬戸内圏においては、現在のような大都市の人口集中からくる“集積の利益”を上廻る“過密の弊害”という結果を再び繰返さないよう、西瀬戸内地域における各地域、都市が果たしている機能の再編成、再配置を行い、開発の基本的な考え方をまず未来志向パターンに再改造することが必要である。

第19表 将来個人消費支出推計
(構成比)

	昭和40年	昭和60年
飲 食 費	38.0	27.5
衣 料	10.1	10.0
燃 料	4.3	4.0
家 賃、水 道 料	9.5	10.5
家 具 備 品	5.7	8.0
家 事 維 持 費	3.6	3.5
保 健、衛 生 費	8.3	8.5
交 通、通 信	3.3	9.0
レクリエーション	7.6	8.5
その他のサービス	9.6	10.5
計	100.0	100.0

主 な 参 考 文 献

- 1) 建設省「地域経済計量モデル」1970.
- 2) 南亭三郎「人口都市化への理論と分析」1965.
- 3) 森田優三「人口の地理的分布とポテンシャル」一橋論叢第42巻第5号1959.
- 4) J. Q. Stewart, "Empirical Mathematical Rules Concerning the Distribution and Equilibrium of Population" Geographical Review, Vol. XXXVII (July 1947)
- 5) W. Isard, Methods of Regional Analysis an Introduction to Regional Science.
- 6) W. Isard, Location and Space-Economy, Methods of Regional Analysis, pp. 500-501.
- 7) 高橋淳二郎「我国における都市の成長と衰退」商工金融1971, 12月号.

- 8) 福岡県企画部「都市の階層性と都市化の潜在力に関する調査」1971.1

引用した参考統計資料

- 1) 統計月報昭45年3, 4, 5月号
- 2) 下河辺淳編「新全国総合開発計画」1971.
- 3) 日本経済新聞「25年後の国民生活アンケート調査」昭和45.7.

附 参考数値

第5表 主 要 経 済 指 標 (全県域)

項 目	調 査 年	単 位	兵 庫 県	岡 山 県	広 島 県	山 口 県
面 積	45.10. 1	km ²	8,351	7,078	8,447	6,085
人 口	45.10. 1	1000人	4,667	1,707	2,436	1,511
就 業 者 数	40.10. 1	1000人	2,054	854	1,151	734
第1次産業	"	%	(14.5)	(34.4)	(23.5)	(28.3)
第2次産業	"	"	(39.4)	(29.7)	(33.9)	(27.0)
第3次産業	"	"	(46.1)	(35.9)	(42.5)	(44.7)
県 内 純 生 産	43年度	億 円	19,229	7,279	10,854	6,013
第1次産業	"	%	(4.2)	(9.7)	(7.2)	(12.8)
第2次産業	"	"	(49.1)	(41.3)	(45.9)	(42.4)
第3次産業	"	"	(46.6)	(49.0)	(49.3)	(45.8)
(同上県民1人当たり)	"	1000円	427	434	457	375
農 業 粗 生 産 額	44 年	億 円	1,087	1,055	920	708
工 業 出 荷 額	"	"	37,257	11,487	17,297	10,819
商 業 年 間 販 売 額 (飲食店を除く)	42.7~43.6	"	21,719	7,027	16,211	6,412
船 舶 輸 送 人 員	44 年	1000人	14,038	10,865	34,351	7,014
鉄 道 輸 送 人 員	44年度	"	810,031	86,890	155,810	99,696
自 動 車 輸 送 人 員	"	"	889,962	291,040	531,205	300,275
船 舶 輸 送 ト ン 数	44 年	"	162,336	101,324	97,564	95,929
鉄 道 輸 送 ト ン 数	44年度	"	5,334	3,332	2,499	8,623
自 動 車 輸 送 ト ン 数	"	"	170,569	68,300	90,124	60,011
国 県 道 延 長	45. 4. 1	km	4,850	3,950	4,432	3,308
行 政 投 資 額	43年度	億 円	1,931	569	826	456
全 国 銀 行 貸 出 残 高	45. 3.	"	9,175	2,364	6,043	2,259
住 宅 建 設 戸 数	44 年	戸	65,795	14,761	36,467	14,415
歳 出 普 通 会 計	44年度	億 円	1,661	764	1,029	736
自 動 車 保 有 台 数	45. 3.31	1000台	647	301	428	246

第6表 主 要 経 済 指 標

項 目	徳島県	香川県	愛媛県	福岡県	大分県	瀬戸内海 地域 ①	全 国 ②	①/②
面 積	4,144	1,870	5,658	4,922	6,053	52,608	370,073	14.2
人 口	791	908	1,418	4,027	1,156	18,621	103,704	18.0
就 業 者 数	383	453	664	1,707	557	8,557	47,629	18.0
第1次産業	(39.0)	(33.5)	(35.6)	(17.4)	(42.1)	(25.0)	(24.7)	-
第2次産業	(23.6)	(25.8)	(25.3)	(31.4)	(17.9)	(31.2)	(31.9)	-
第3次産業	(37.3)	(40.6)	(39.0)	(51.2)	(40.0)	(43.8)	(43.4)	-
県 内 純 生 産	2,723	3,400	5,240	15,555	3,572	73,865	426,231	17.3
第1次産業	(18.3)	(11.2)	(15.4)	(7.5)	(19.0)	(8.9)	(9.9)	-
第2次産業	(26.8)	(33.3)	(37.5)	(36.1)	(25.4)	(41.1)	(38.4)	-
第3次産業	(55.0)	(55.5)	(47.1)	(56.4)	(55.6)	(50.4)	(51.7)	-
(同上県民1人当たり)	341	377	367	303	304	402	421	-
農 業 粗 生 産 額	599	639	950	1,310	776	8,045	45,370	17.7
工 業 出 荷 額	2,264	3,709	7,020	15,825	3,015	108,693	581,749	18.7
商 業 年 間 販 売 額 (飲食店を除く)	2,252	4,828	4,170	31,290	3,347	97,256	793,240	12.3
船 舶 輸 送 人 員	2,433	15,657	10,681	5,291	2,829	103,188	180,595	57.1
鉄 道 輸 送 人 員	33,637	49,649	72,762	498,974	49,579	1,857,028	16,249,138	11.4
自 動 車 輸 送 人 員	130,241	131,865	197,311	999,014	193,961	3,664,874	21,785,077	16.8
船 舶 輸 送 ト ン 数	33,637	60,717	47,793	96,835	32,614	728,749	1,624,859	44.8
鉄 道 輸 送 ト ン 数	281	629	858	20,611	1,206	43,373	201,426	21.5
自 動 車 輸 送 ト ン 数	34,206	41,292	54,365	164,901	46,542	730,310	4,164,837	17.5
国 県 道 延 長	2,042	1,617	3,441	3,660	3,028	30,328	153,998	19.7
行 政 投 資 額	362	283	437	1,256	420	6,550	41,043	16.0
全 国 銀 行 貸 出 残 高	1,051	2,207	1,791	8,246	1,124	34,280	347,240	9.9
住 宅 建 設 バ 数	6,813	8,953	15,336	45,689	12,472	220,701	1,346,612	16.4
歳 出 普 通 会 計	498	425	712	1,553	655	8,033	49,251	16.3
自 動 車 保 有 台 数	131	159	204	624	168	2,908	16,529	17.6

第7表 総 合 経 済 力

府県別	国土面積 (km ²)	可住地面積 (km ²)	総 人 口 (1000人)								人口(可住地面積) 密度(km ² 当たり・人)	
	42年10月	42年10月	34年3月末		39年3月末		44年3月末		増 減 数		39年3月	44年3月
	面積	面積	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	39/34	44/39	密度	密度
全 国	369,816	112,053	94,024	100.00	98,366	100.00	102,747	10.000	4,342	4,381	878	917
近 畿	27,218	7,732	13,729	14.60	15,329	15.58	16,799	16.35	1,600	1,470	1,983	2,173
滋 賀	4,016	1,201	855	0.91	862	0.88	871	0.85	7	9	718	725
京 都	4,612	1,130	2,020	2.15	2,104	2.14	2,214	2.15	84	110	1,862	1,959
大 阪	1,845	1,190	5,120	5.45	6,225	6.33	7,218	7.03	1,099	993	5,231	6,066
兵 庫	8,336	2,387	3,902	4.15	4,252	4.32	4,538	4.42	350	286	1,781	1,901
奈 良	3,692	777	792	0.84	818	0.83	894	0.87	26	76	1,053	1,151
和歌山	4,717	1,045	1,035	1.10	1,059	1.08	1,064	1.04	24	5	1,013	1,018
山 陰	10,115	2,203	1,544	1.64	1,479	1.50	1,389	1.35(—)	65(—)	90	671	631
鳥 取	3,489	872	620	0.66	605	0.62	585	0.57(—)	15(—)	20	694	671
島 根	6,626	1,331	925	0.98	874	0.89	804	0.78(—)	51(—)	70	657	604
山 陽	21,601	5,804	5,653	6.01	5,652	5.75	5,717	5.56(—)	1	65	974	985
岡 山	7,077	2,090	1,743	1.85	1,720	1.75	1,728	1.68(—)	23	8	823	827
広 島	8,444	2,044	2,254	2.40	2,322	2.36	2,431	2.37	68	109	1,136	1,189
山 口	6,080	1,670	1,656	1.76	1,609	1.61	1,558	1.52(—)	47(—)	51	963	933
四 国	16,766	4,868	4,355	4.63	4,192	4.26	4,041	3.93(—)	163(—)	151	861	830
徳 島	4,143	1,021	894	0.95	857	0.87	824	0.80(—)	37(—)	33	839	807
香 川	1,864	920	964	1.03	939	0.95	918	0.89(—)	25(—)	21	1,021	998
愛 媛	5,654	1,573	1,586	1.69	1,516	1.51	1,462	1.42(—)	70(—)	54	964	929
高 知	7,105	1,354	912	0.97	878	0.89	837	0.81(—)	34(—)	41	648	618
北九州	25,097	9,850	10,239	10.89	9,951	10.12	9,633	9.38(—)	288(—)	318	1,010	978
福 岡	4,912	2,551	4,121	4.38	4,119	4.19	4,115	4.00(—)	2(—)	4	1,615	1,613
佐 賀	2,406	1,244	998	1.06	922	0.94	879	0.86(—)	76(—)	43	741	707
長 崎	4,089	1,627	1,861	1.98	1,769	1.80	1,657	1.61(—)	92(—)	112	1,087	1,018
熊 本	7,377	2,662	1,942	2.07	1,850	1.88	1,770	1.72(—)	92(—)	80	695	665
大 分	6,313	1,766	1,317	1.40	1,291	1.31	1,213	1.18(—)	26(—)	78	731	687
南九州	16,875	5,178	3,288	3.50	3,110	3.16	2,931	2.85(—)	178(—)	179	601	566
宮 崎	7,733	1,892	1,189	1.26	1,151	1.17	1,112	1.08(—)	38(—)	39	608	588
鹿 児 島	9,142	3,286	2,099	2.23	1,958	1.99	1,819	1.77(—)	141(—)	139	596	554

- (注) 1. 国土面積は、建設省国土地理院調べ、境界未定の県については一部推計、全国計には十和田湖、中海などを含む。
 2. 可住地面積は、国土面積から森林、原野、湖沼面積を差し引いたもの。
 3. 総人口は、自治省「住民基本台帳」にもとづく人口数表。
 4. 人口密度は、可住地面積 1 km² に占める総人口数。

第8表 総 合 経 済 力

府県別	就 業 人 口 (民営事業所・1000人)			世 帯 数 (1000世帯)						産 業 別 県 内 生 産 所 得 (構成比・%)		
	38年7月	44年7月	増減数	39年3月末		44年3月末		増 減 数		40 年		
	人 数	人 数	44/38	世帯数	構成比	世帯数	構成比	44/39	構成比	第1次産業	第2次産業	第3次産業
全 国	27,241	34,928	7,687	23,731	100.00	28,206	100.00	4,475	100.00	10.3	38.0	51.6
近 畿	5,217	6,430	1,213	3,957	16.67	4,955	17.57	998	22.30	4.0	43.4	51.7
滋 賀	205	278	73	199	0.84	223	0.75	24	0.54	16.6	40.6	42.8
京 都	654	778	124	554	2.33	646	2.29	92	2.06	4.0	37.4	58.6
大 阪	2,707	3,423	716	1,684	7.10	2,258	8.01	574	12.82	0.9	43.9	53.6
兵 庫	1,250	1,444	194	1,079	4.55	1,309	4.64	230	5.14	4.3	48.7	47.0
奈 良	155	201	46	180	0.76	230	0.82	50	1.12	19.0	27.2	53.8
和歌山	246	306	60	261	1.10	289	1.02	28	0.63	16.1	39.7	44.2
山 陰	288	385	97	339	1.43	353	1.23	14	0.31	22.8	20.3	56.9
鳥 取	119	163	44	142	0.60	150	0.53	8	0.18	22.5	21.4	56.1
島 根	169	221	52	197	0.83	203	0.72	6	0.13	23.0	19.6	57.4
山 陽	1,470	1,934	464	1,420	5.98	1,612	5.72	192	4.29	11.4	42.9	45.7
岡 山	416	574	158	422	1.78	480	1.70	58	1.30	12.0	39.6	48.4
広 島	656	881	225	594	2.50	698	2.47	104	2.32	10.3	44.7	44.9
山 口	398	478	80	405	1.71	434	1.54	29	0.65	12.3	43.7	44.0
四 国	871	1,131	260	1,010	4.26	1,095	3.88	85	1.90	18.4	29.3	52.3
徳 島	173	219	46	196	0.83	210	0.74	14	0.31	18.2	26.8	55.0
香 川	220	301	81	227	0.96	249	0.88	22	0.49	14.0	28.7	57.3
愛 媛	322	400	78	365	1.54	399	1.41	34	0.76	18.2	34.5	47.3
高 知	157	211	54	222	0.94	238	0.84	16	0.36	25.1	22.4	52.5
北九州	2,139	2,641	502	2,274	9.58	2,470	8.76	196	4.38	15.8	29.7	54.5
福 岡	1,099	1,310	211	978	4.12	1,102	3.91	124	2.77	8.7	35.4	55.9
佐 賀	175	228	53	191	0.80	202	0.72	11	0.25	27.3	25.2	47.5
長 崎	333	405	72	401	1.69	414	1.47	13	0.29	16.7	26.7	56.6
熊 本	301	400	99	413	1.74	444	1.57	31	0.69	24.4	23.0	52.6
大 分	231	299	68	292	1.23	308	1.09	16	0.36	22.2	23.8	54.0
南九州	472	623	151	765	3.22	819	2.90	54	1.21	23.8	22.7	53.3
宮 崎	188	257	69	273	1.15	300	1.06	27	0.60	21.0	27.9	51.1
鹿児島	285	366	81	492	2.07	520	1.84	28	0.63	25.9	18.7	55.0

(注) 1. 就業人口は総理府統計局事業所統計課「事業所統計調査報告」。

2. 世帯数は自治省「住民基本台帳に基づく世帯数表」。

3. 産業別県内生産所得は、経企庁経済研究所国民所得部調べ。第1次産業とは農業、林業、水産業、第2次産業とは鉱業、建設業、製造業、第3次産業とは卸・小売業、金融・保険・不動産業、運輸・通信、公益事業、サービス業、公務など。なお、全国計と、高山、大阪、鹿児島には調整項があるので第1次、2次、3次産業の合計が100%にならない。

第9表 総 合 経 済 力

府県別	県 民 分 配 所 得 (億円)								1 人 当 た り 県 民				
	30 年		35 年		40 年		42年度		成長率 (年率・%)		30 年	35 年	40 年
	金額	金額	構成比	金額	構成比	金額	40/35	42/40	金額	金額	水準値	金額	
全 国	69,976	125,362	100.00	244,854	100.00	357,081	14.3	17.3	78,382	134,193	100.00	249,152	
近 畿	11,731	21,995	18.04	47,046	19.01	..	16.5	..	91,563	156,771	116.83	298,212	
滋 賀	578	974	0.80	1,766	0.71	..	12.6	..	67,681	115,540	86.10	207,034	
京 都	1,580	2,742	2.25	5,440	2.20	..	14.7	..	81,654	137,582	102.53	258,678	
大 阪	4,995	10,812	8.87	24,581	9.93	34,421	17.8	17.8	108,164	196,403	146.36	369,250	
兵 庫	3,278	5,521	4.53	11,276	4.56	..	15.3	..	90,527	141,347	105.33	261,624	
奈 良	550	881	0.72	1,778	0.72	2,592	15.1	16.4	70,785	112,804	84.06	215,254	
和歌山	750	1,065	0.87	2,205	0.89	3,351	15.7	..	74,479	106,287	79.20	214,703	
山 陰	935	1,391	1.14	2,404	0.97	3,369	11.6	16.6	60,596	93,481	69.66	171,469	
鳥 取	380	552	0.45	969	0.39	1,431	11.9	16.1	61,889	92,154	68.67	167,069	
島 根	555	839	0.69	1,435	0.58	1,939	11.3	16.9	59,742	94,376	70.33	174,574	
山 陽	3,677	6,086	4.99	11,571	4.68	17,953	13.7	17.7	67,430	111,547	83.12	211,536	
岡 山	1,152	1,780	1.46	3,445	1.39	5,561	14.1	22.2	68,166	106,587	79.43	209,422	
広 島	1,416	2,457	2.02	4,954	2.00	7,779	15.1	17.0	65,891	112,500	83.83	217,185	
山 口	1,109	1,849	1.52	3,172	1.28	4,613	11.4	14.0	68,882	115,418	86.01	205,440	
四 国	2,730	4,230	3.47	7,927	3.20	11,531	13.4	..	64,296	102,620	76.47	199,421	
徳 島	503	829	0.68	1,533	0.60	2,282	13.1	..	57,289	97,875	72.94	188,098	
香 川	694	1,072	0.88	2,076	0.68	2,748	14.1	18.9	73,517	116,649	86.93	230,411	
愛 媛	1,014	1,503	1.23	2,792	1.13	4,216	13.2	17.6	65,801	100,133	74.62	193,084	
高 知	519	826	0.68	1,526	0.62	2,285	13.0	16.8	58,777	96,608	71.99	187,700	
北九州	6,487	9,982	8.19	18,656	7.54	26,305	12.8	..	66,499	101,795	75.86	197,711	
福 岡	2,955	4,966	4.07	8,861	3.58	12,420	12.3	16.2	76,554	123,933	92.35	223,480	
佐 賀	604	910	0.75	1,563	0.63	2,229	11.4	10.6	62,012	96,501	71.91	179,243	
長 崎	1,070	1,494	1.23	2,922	1.18	4,094	14.4	15.2	61,213	84,886	63.26	178,062	
熊 本	1,129	1,517	1.24	3,209	1.30	4,682	16.2	..	59,546	81,735	60.91	181,197	
大 分	729	1,095	0.90	2,101	0.85	2,880	13.9	14.9	57,087	88,306	65.81	177,001	
南九州	1,474	2,334	1.91	4,556	1.84	6,074	14.3	..	46,309	75,339	56.14	155,233	
宮 崎	568	960	0.79	1,874	0.76	2,547	14.3	..	49,868	84,581	63.03	173,358	
鹿児島	906	1,374	1.13	2,682	1.08	3,527	14.3	13.8	44,325	69,995	52.16	144,660	

(注) 1. 県民分配所得は、経金庁経済研究所国民所得調べ。府県別所得は推計誤差があるため全国計(分配国民所得)に一致しない。このため構成比算出には各府県の合計額(30年＝6兆7460億円、35年＝12兆1918億円、40年＝24兆7438億円)を用いた。ただ、全国の成長率は分配国民所得を用いてある。

2. 35年、40年の県民分配所得のうち千葉、富山、岐阜、滋賀、島根、徳島、香川、高知の各県は年度計数。また、最近年は国民所得統計の推計方法変更によりすべて年度計数。なお一部の県ではまだ計数がまとまっていない。なお、1人当たり県民分配所得はわが社で算出した。

第10表 総 合 経 済 力

府県別	分 配 所 得 (円)				地方財政歳出決算額 (100万円)				1人当たり国税徴収決定額 (円)			
	40 年	42年度	成長率 (年率・%)		38 年 度		43 年 度		38 年 度		43 年 度	
	水準値	金 額	40/35	42/40	決算額	構成比	決算額	構成比	税 額	水準値	税 額	水準値
全 国	100.00	352,283	13.2	16.2	2,095,868	100.00	4,166,590	100.00	24,471	100.00	48,227	100.00
近 畿	119.69	..	13.7	..	285,684	13.63	595,869	14.30	36,861	150.63	68,036	141.07
滋 賀	83.10	..	12.4	..	21,369	1.02	41,154	0.99	7,087	28.96	14,158	29.36
京 都	103.82	..	13.5	..	31,858	1.52	63,028	1.51	25,868	105.71	53,005	109.91
大 阪	148.20	503,231	13.5	14.5	115,655	5.52	268,537	6.45	53,186	217.34	93,643	194.17
兵 庫	105.01	..	13.1	..	70,749	3.38	136,258	3.27	33,806	138.15	61,178	126.85
奈 良	86.39	302,098	13.8	14.4	18,267	0.87	37,180	0.89	8,792	35.93	16,368	33.94
和歌山	86.17	312,593	15.1	..	27,786	1.33	49,712	1.19	23,843	97.43	45,100	93.52
山 陰	68.82	235,594	12.9	16.5	40,941	1.95	76,766	1.84	5,203	21.26	12,723	26.38
鳥 取	67.06	240,909	12.6	16.7	17,346	0.83	32,304	0.78	5,376	21.97	15,224	31.57
島 根	70.07	231,938	13.1	18.6	23,595	1.13	44,462	1.07	5,085	20.78	10,951	22.71
山 陽	84.90	314,634	13.6	17.4	113,439	5.41	219,982	5.28	16,270	66.49	40,834	84.67
岡 山	84.05	323,126	14.5	22.3	34,902	1.67	67,144	1.61	13,220	54.02	37,854	78.49
広 島	87.17	324,937	14.1	15.9	44,532	2.12	88,365	2.12	21,969	89.78	44,968	93.24
山 口	82.46	290,126	12.2	14.5	34,005	1.62	64,473	1.55	11,484	46.93	37,792	78.36
四 国	80.04	278,931	14.2	..	98,255	4.69	185,463	4.45	6,774	27.68	18,163	37.66
徳 島	75.50	271,021	14.0	..	22,182	1.06	42,030	1.01	5,393	22.04	13,625	28.25
香 川	92.48	297,403	14.6	19.8	19,783	0.94	36,110	0.87	8,964	36.63	23,556	48.84
愛 媛	77.50	280,506	14.0	16.4	30,225	1.44	60,454	1.45	6,409	26.19	19,111	39.63
高 知	75.34	264,774	14.2	17.4	26,065	1.24	46,869	1.12	6,434	26.29	15,008	31.12
北九州	79.35	267,790	14.2	..	192,232	9.17	374,093	8.98	9,729	39.76	22,552	46.76
福 岡	89.70	299,710	12.5	16.0	68,576	3.27	134,990	3.24	15,712	64.21	34,256	71.03
佐 賀	71.94	246,844	13.2	10.8	22,813	1.09	43,790	1.05	5,634	23.02	13,222	27.42
長 崎	71.47	239,555	16.0	16.3	35,068	1.67	66,932	1.61	5,012	20.48	11,083	22.98
熊 本	72.73	258,104	17.3	..	37,038	1.77	72,180	1.73	5,473	22.37	11,771	24.41
大 分	71.04	230,400	14.9	16.0	28,737	1.37	56,201	1.35	6,297	25.73	21,480	44.54
南九州	62.30	197,850	15.6	..	66,139	3.16	134,055	3.22	3,903	15.95	9,908	20.54
宮 崎	69.58	219,758	15.4	..	27,023	1.29	55,140	1.32	3,716	15.19	10,111	20.97
鹿児島	58.06	184,563	15.6	14.5	39,116	1.87	78,915	1.89	4,015	16.41	9,785	20.29

(注) 1. 地方財政歳出決算額は、自治省財政局指導課「地方財政統計年報」「都道府県決算状況調」。

2. 国税徴収決定額は、国税庁長官官房総務課「国税統計年報」「税務統計速報」国税には各府県に集約できない局扱い分（全国計には含む）があるため、各府県の水準値はやや低めに出ている。

第11表 部 門 別 総 合 指 標

府県別	農 林 漁 業 生 産 力 指 標				工 業 生 産 力 指 標				消 費 購 買 力 指 標			
	5 年 前		最 近 年		増 減		5 年 前		最 近 年		増 減	
	構成比	構成比	順 位	ポイント	構成比	構成比	順 位	ポイント	構成比	構成比	順 位	ポイント
全 国	100.00	100.00	—	—	100.00	100.00	—	—	100.00	100.00	—	—
近 畿	7.97	7.58	—	(-)0.39	19.57	19.00	—	(-)0.57	19.98	19.27	—	(-)0.71
滋 賀	1.12	1.10	34	(-)0.02	1.07	0.78	30	(-)0.29	0.58	0.66	39	0.08
京 都	1.09	0.94	41	(-)0.15	1.58	1.47	16	(-)0.11	2.52	2.52	9	0
大 阪	1.21	1.00	38	(-)0.21	9.88	9.32	2	(-)0.56	11.12	10.31	2	(-)0.81
兵 庫	2.62	2.79	10	(-)0.17	5.71	5.61	5	(-)0.10	4.31	4.26	6	(-)0.05
奈 良	0.96	0.88	45	(-)0.08	0.40	0.47	13	0.07	0.56	0.62	40	0.06
和歌山	0.97	0.89	44	(-)0.08	1.21	1.34	22	0.13	0.91	0.91	28	0
山 陰	2.33	2.39	—	0.06	0.69	0.78	—	0.09	0.80	0.89	—	0.09
鳥 取	0.92	0.98	40	0.06	0.31	0.36	46	0.05	0.38	0.41	46	0.03
島 根	1.41	1.41	29	0	0.39	0.43	45	0.04	0.43	0.48	45	0.05
山 陽	6.61	6.02	—	(-)0.59	6.41	7.69	—	1.28	4.47	5.04	—	0.57
岡 山	2.03	1.90	21	(-)0.13	1.54	2.19	14	0.65	1.16	1.37	18	0.21
広 島	2.78	2.32	16	(-)0.46	2.27	2.99	9	0.72	2.06	2.38	12	0.32
山 口	1.80	1.79	22	(-)0.01	2.60	2.50	12	(-)0.10	1.25	1.30	20	0.05
四 国	4.82	5.01	—	0.19	3.04	3.38	—	0.34	2.67	2.88	—	0.21
徳 島	1.00	1.09	35	0.09	0.60	0.64	38	0.04	0.51	0.55	44	0.04
香 川	0.98	1.05	36	0.07	0.68	0.92	27	0.24	0.65	0.72	36	0.07
愛 媛	1.67	1.72	26	0.05	1.22	1.24	23	0.02	0.93	0.98	26	0.05
高 知	1.17	1.16	33	(-)0.01	0.54	0.58	39	0.04	0.58	0.62	40	0.04
北九州	8.80	8.80	—	0	7.54	7.00	—	(-)0.54	6.90	7.13	—	0.23
福 岡	2.40	2.30	17	(-)0.10	4.79	4.26	7	(-)0.53	3.72	3.62	7	(-)0.10
佐 賀	1.21	1.28	32	0.07	0.47	0.50	42	0.03	0.49	0.56	43	0.07
長 崎	1.35	1.29	31	(-)0.06	0.86	0.76	33	(-)0.10	1.01	1.03	25	0.02
熊 本	2.32	2.41	14	0.09	0.79	0.79	29	0	0.96	1.10	24	0.14
大 分	1.53	1.52	28	(-)0.01	0.62	0.70	37	0.08	0.71	0.82	34	0.11
南九州	4.20	4.24	—	0.04	1.10	1.09	—	(-)0.01	1.48	1.65	—	0.17
宮 崎	1.65	1.75	25	0.10	0.50	0.56	40	0.06	0.61	0.71	37	0.10
鹿児島	2.56	2.50	13	(-)0.06	0.60	0.53	41	(-)0.07	0.87	0.94	27	0.07

(注) 1. 農林漁業生産力指標は、12～15ページ掲載統計のうち、6指標の構成比を単純算術平均した（採用指標は5ページ参照、以下同じ）。
 2. 工業生産力指標は、16～20ページ掲載統計のうち、また、消費購買力指標は、21～27ページ掲載統計のうち、10指標の構成比を単純算術平均した。

第12表 部 門 別 総 合 指 標

府県別	1世帯当たり消費購買力指標				文 化・厚 生 水 準				1人当たり文化・厚生水準			
	5年前		最 近 年		5年前		最 近 年		5年前		最 近 年	
	水準値	水準値	順 位	増 減 ポイント	構成比	構成比	順 位	増 減 ポイント	水準値	水準値	順 位	増 減 ポイント
全 国	100.00	100.00	—	—	100.00	100.00	—	—	100.00	100.00	—	—
近 畿	127.51	117.06	—	(-)10.45	19.44	19.43	—	(-)0.01	122.40	120.31	—	(-)2.09
滋 賀	68.31	78.47	22	10.16	0.69	0.68	41	(-)0.01	75.03	88.45	18	13.42
京 都	116.01	116.59	4	0.58	2.98	2.87	8	(-)0.11	125.72	125.34	4	(-)0.38
大 阪	172.22	143.28	2	(-)28.94	9.70	10.13	2	0.43	169.62	151.93	2	17.69
兵 庫	100.07	96.55	9	(-)3.52	4.43	4.08	6	(-)0.35	105.87	98.14	8	(-)7.73
奈 良	70.60	72.04	31	1.44	0.79	0.81	37	0.02	93.41	97.73	9	4.32
和歌山	82.96	86.33	15	3.37	0.84	0.87	34	0.03	81.00	86.21	22	5.21
山 陰	55.44	67.18	—	11.74	1.13	1.31	—	0.18	71.86	77.63	—	5.77
鳥 取	62.03	74.65	29	12.62	0.52	0.61	46	0.09	78.24	85.00	25	6.76
鳥 根	50.89	63.42	42	12.53	0.62	0.70	40	0.08	67.53	72.71	39	5.18
山 陽	77.07	89.14	—	12.07	5.31	5.25	—	(-)0.06	84.91	88.04	—	3.13
岡 山	64.79	80.09	20	15.30	1.59	1.52	16	(-)0.07	82.99	88.17	19	5.18
広 島	86.38	98.97	7	12.59	2.10	2.19	12	0.09	88.48	91.84	14	3.36
山 口	75.18	84.87	17	9.69	1.62	1.53	15	(-)0.09	82.08	81.75	29	(-)0.33
四 国	62.76	72.78	—	10.02	3.27	3.32	—	0.05	72.38	80.85	—	8.47
徳 島	58.46	71.26	32	12.80	0.64	0.64	43	0	72.72	78.42	32	5.70
香 川	68.38	80.02	21	11.64	0.82	0.83	36	0.01	81.40	91.86	13	10.46
愛 媛	60.56	68.15	37	7.59	1.11	1.11	28	0	70.58	76.90	34	6.32
高 知	64.76	74.51	30	9.75	0.70	0.74	38	0.04	68.04	80.00	30	11.96
北九州	69.49	76.59	—	7.10	7.65	7.57	—	(-)0.08	78.34	81.31	—	2.97
福 岡	88.36	90.21	12	1.85	3.71	3.65	7	(-)0.06	92.40	93.21	12	0.81
佐 賀	56.22	67.08	40	10.86	0.63	0.62	45	(-)0.01	71.40	74.16	37	2.76
長 崎	59.88	67.79	39	7.91	1.24	1.19	25	(-)0.05	74.11	75.40	36	1.29
熊 本	52.04	62.74	43	10.70	1.19	1.22	24	0.03	64.87	69.87	42	5.00
大 分	55.70	68.72	36	13.02	0.89	0.89	33	0	68.92	75.49	35	6.57
南九州	45.42	54.30	—	8.88	1.87	1.98	—	0.11	55.58	63.13	—	7.55
宮 崎	50.27	62.31	44	12.04	0.71	0.74	38	0.03	57.84	64.83	45	6.99
鹿児島	42.65	49.53	46	6.88	1.16	1.24	23	0.08	55.49	62.19	46	6.70

- (注) 1. 1世帯当たり消費購買力指標は、21～27ページ掲載統計のなかから人口あるいは世帯単位当たりを算出した10指数の水準値を単純算術平均した。
2. 文化・厚生水準は、28～34ページ掲載統計のうち10指標の構成比を、また、1人当たり文化・厚生水準は進学率、普及率、補償率と人口あるいは世帯単位当たりを算出した指標の水準値を単純算術平均した。

第13表 西瀬戸内圏都市の消費購買力

都 市	成長力係数	順位	民力度係数	順位	人 口 数 (国勢調査, 人)				将 来 人 口 (わが社推計, 人)		銀行預金 (100万円)		郵便貯金 (100万円)	
					40 年	45 年	増 加 率 (%)		50 年	50/45 (%)	45年3月	45年3月	45年3月	45年3月
							40/35	45/40						
島 根					821,620	773,575	(-) 7.6	(-) 5.8	700,000	(-) 11.1	88,858		33,006	
松 江	95.1459	125.6	33		110,534	118,005	3.8	6.8	113,900	(-) 0.1	36,475		4,108	
浜 田	92.5496	76.6416			51,483	49,407	(-) 5.5	(-) 4.0	45,000	(-) 8.1	7,734		2,784	
出 雲	109.0227	95.7208			68,773	69,078	(-) 0.7	0.4	64,700	(-) 6.7	8,265		2,504	
益 田	93.5484	70.3466			52,729	50,071	(-) 5.9	(-) 5.0	44,500	(-) 11.1	5,108		1,929	
大 田	92.9491	57.6556			42,322	38,192	(-) 10.4	(-) 9.8	37,000	(-) 11.6	2,997		1,725	
来 安	100.6366	80.3377			30,778	30,796	(-) 1.8	0.1	30,100	(-) 4.5	2,030		1,049	
江 津	87.9538	56.5564			30,209	27,891	(-) 9.8	(-) 7.7	25,100	(-) 13.1	2,951		1,614	
平 田	85.9554	69.6476			33,128	31,560	(-) 4.8	(-) 4.7	28,800	(-) 9.7	1,401		819	
広 島					2,281,146	2,436,135	4.4	6.8	2,560,000		4,460,789		119,631	
広 島	104.4306	143.9	6		504,245	541,998	16.9	7.5	621,600	13.4	337,164		22,821	
呉	98.8404	79.7381			225,013	235,193	7.1	4.5	248,800	5.5	43,859		13,041	
竹 原	107.7254	77.6405			35,018	35,017	(-) 3.9	0	35,900	(-) 2.8	4,635		1,934	
三 原	103.8315	98.7170			82,175	82,621	2.2	0.5	87,800	3.0	11,602		4,787	
尾 道	94.0477	105.4119			100,176	101,363	(-) 0.3	1.2	90,700	(-) 2.2	33,670		6,673	
因 島	116.7132	81.2365			41,128	41,729	(-) 0.9	1.5	38,300	(-) 5.6	3,981		2,381	
福 山	118.7110	116.8	59		204,768	255,086	8.0	24.6	281,800	12.8	72,068		11,212	
府 中	93.1489	97.2189			45,341	47,651	11.4	5.1	52,600	9.2	13,254		2,310	
三 次	103.5322	78.4395			37,871	36,169	(-) 10.2	(-) 4.5	33,100	(-) 12.3	4,568		2,227	
庄 原	97.3433	64.7513			26,515	24,464	(-) 13.5	(-) 7.7	20,300	(-) 18.8	1,844		1,287	
大 竹	81.4573	71.6453			38,145	37,637	10.4	(-) 1.3	40,400	6.3	7,466		1,840	
山 口					1,543,573	1,511,448	(-) 3.7	(-) 2.1	1,450,000	(-) 5.5	316,318		71,185	
下 関	85.3559	87.4302			254,376	258,425	3.0	1.6	274,000	4.1	78,325		10,858	
宇 部	86.5550	95.2217			158,986	152,935	(-) 4.6	(-) 3.8	132,900	(-) 12.4	45,859		6,844	
山 口	93.2487	83.2332			98,977	101,041	(-) 2.9	2.1	99,200	(-) 2.3	26,726		3,896	
萩	96.5443	72.2450			53,905	52,541	(-) 5.1	(-) 2.5	49,200	(-) 5.7	9,621		2,255	
徳 山	103.2326	109.2	90		93,472	98,520	7.0	5.4	102,100	2.9	33,568		4,901	
防 府	97.0436	82.0349			94,342	97,009	(-) 0.2	(-) 2.8	97,600	(-) 0.6	17,385		4,552	
下 松	90.2525	90.1268			47,401	49,627	6.0	4.7	49,600	(-) 0.2	10,466		2,579	
岩 国	104.2308	74.8427			105,931	106,116	5.6	0.2	107,300	1.9	18,471		5,301	
小 野 田	87.8541	79.4384			43,584	42,041	(-) 21.0	(-) 3.5	31,600	(-) 23.8	7,330		1,893	
光	93.0490	75.4424			40,916	45,716	8.8	11.7	46,100	1.7	6,325		1,848	
長 門	98.4412	75.3425			29,246	27,815	(-) 5.4	(-) 4.9	25,800	(-) 8.7	3,601		1,239	
柳 井	82.7569	77.6405			38,896	37,774	(-) 4.5	(-) 2.9	38,100	(-) 4.2	7,626		2,242	
美 祢	84.3562	58.4553			34,359	27,639	(-) 13.5	(-) 19.6	22,200	(-) 23.2	2,937		1,548	
新 南 陽	—	—	—	—	30,454	32,352	11.3	6.2	35,500	11.0	—		—	
愛 媛					1,446,384	1,418,124	(-) 3.6	(-) 2.0	1,400,000	(-) 3.1	249,841		53,944	
松 山	115.2151	99.2162			290,662	322,902	10.9	11.1	355,900	9.5	86,064		9,900	
今 治	115.2151	112.9	74		104,470	111,125	4.4	6.4	103,400	(-) 5.0	41,710		4,412	
宇 和 島	88.6533	68.0489			66,484	64,262	(-) 2.4	(-) 3.3	64,600	(-) 0.6	11,726		2,551	
八 幡 浜	92.5495	63.0523			50,005	46,903	(-) 4.8	(-) 6.2	44,500	(-) 6.3	8,973		1,862	

第14表 西瀬戸内圏都市の消費購買力

都 市	卸 売 業 年 間 販 売 額 (100万円)				小 売 業 年 間 販 売 額 (100万円)				飲 食 店 年 間 販 売 額 (100万円)			
	43 年	45 年	増 加 率 (%)		43 年	45 年	増 加 率 (%)		43 年	45 年	増 加 率 (%)	
			43/41	45/43			43/41	45/43			43/41	45/43
島 根	109,699		(-) 7.0		102,732		62.5		6,272		40.6	
松 江	59,512	..	(-) 7.6	..	26,923	..	70.2	..	2,352	..	48.6	..
浜 田	10,457	..	(-) 3.4	..	9,326	..	77.3	..	591	..	27.6	..
出 雲	17,349	..	3.7	..	15,180	..	84.2	..	729	..	49.6	..
益 田	6,010	..	(-) 17.5	..	8,278	..	79.4	..	524	..	36.1	..
大 田	3,514	..	(-) 7.7	..	5,097	..	54.4	..	288	..	28.0	..
安 来	2,740	..	(-) 0.5	..	3,556	..	40.6	..	239	..	71.9	..
江 津	1,058	..	(-) 1.2	..	3,286	..	60.9	..	209	..	81.7	..
平 田	918	..	0.6	..	3,380	..	33.8	..	111	..	16.5	..
広 島	1,217,271	1,820,632	37.3	49.6	399,831	512,740	79.9	28.2	39,314	51,442	60.1	30.8
広 島	914,799	1,401,630	47.6	53.2	168,713	190,330	91.4	12.8	22,157	28,179	54.8	27.2
呉	56,544	69,756	12.8	23.4	39,861	55,524	59.4	39.3	3,549	4,740	60.8	33.6
竹 原	2,851	3,916	15.0	37.4	5,425	7,365	62.8	35.8	313	487	48.3	55.6
三 原	13,642	15,844	(-) 24.4	16.1	14,883	20,405	80.7	37.1	1,217	1,592	105.0	27.7
尾 道	55,807	78,233	11.1	40.2	17,066	20,878	70.2	22.3	1,707	2,067	29.4	21.1
因 島	2,617	2,911	55.4	11.2	5,164	7,576	32.4	46.7	510	693	72.2	35.9
福 山	104,903	153,626	25.2	46.4	46,328	70,905	95.3	53.0	4,843	6,243	106.1	28.9
府 中	8,747	9,455	18.6	8.1	7,756	12,087	59.0	55.8	396	783	115.2	97.7
三 次	7,766	8,500	8.9	9.5	7,301	10,618	75.2	45.4	415	519	37.8	25.1
庄 原	2,905	3,765	7.9	29.6	3,203	3,829	88.4	19.5	234	259	84.2	10.7
大 竹	3,100	3,244	(-) 17.3	4.6	5,745	6,626	57.7	15.3	322	424	79.8	31.7
山 口	410,040		31.9		227,901		58.0		19,484		54.4	
下 関	125,808	..	22.2	..	42,564	..	44.9	..	3,536	..	29.9	..
宇 部	51,974	..	0.9	..	30,605	..	57.3	..	3,428	..	104.6	..
山 口	23,899	..	2.0	..	15,606	..	48.2	..	1,219	..	52.9	..
萩	9,024	..	(-) 3.6	..	9,310	..	71.7	..	617	..	54.2	..
徳 山	62,189	..	70.5	..	21,657	..	75.1	..	3,285	..	93.4	..
防 府	16,903	..	14.9	..	14,690	..	54.2	..	1,220	..	38.3	..
下 松	9,516	..	22.0	..	6,470	..	58.3	..	375	..	27.1	..
岩 国	24,057	..	4.3	..	19,997	..	55.2	..	2,177	..	20.0	..
小 野 田	2,987	..	(-) 26.4	..	7,092	..	104.8	..	365	..	59.3	..
光	2,475	..	(-) 13.6	..	5,898	..	53.7	..	279	..	91.0	..
長 門	2,124	..	44.9	..	4,469	..	47.4	..	475	..	208.4	..
柳 井	9,924	..	17.7	..	7,233	..	52.3	..	587	..	28.4	..
美 祢	610	..	(-) 47.1	..	3,642	..	65.0	..	195	..	37.3	..
新 南 陽	3,674	..	36.4	..	4,370	..	55.8	..	203	..	111.4	..
愛 媛	243,754		23.3		173,863		56.7		13,102		48.7	
松 山	104,051	..	20.8	..	59,885	..	69.3	..	5,642	..	35.5	..
今 治	40,744	..	31.6	..	19,767	..	54.3	..	1,195	..	53.6	..
宇 和 島	20,279	..	12.7	..	12,517	..	69.4	..	1,055	..	48.5	..
八 幡 浜	27,982	..	46.8	..	7,094	..	58.5	..	489	..	31.4	..

第15表 西瀬戸内圏都市の消費購買力

都 市	成長力係数	順 位	民 生 度 係 数	順 位	人 口 数 (国勢調査, 人)				将 来 人 口 (わが社推計, 人)		銀行預金	郵便貯金
											(100万円)	(100万円)
					40 年	45 年	増 加 率 (%)	10/35	45/40	50 年	50/45 (%)	45年3月
新 居 浜	113.7	174	81.9	354	125,155	126,033	(-) 0.4	0.7	125,900	(-) 0.5	25,593	5,462
西 条	102.6	337	69.1	483	52,368	51,127	(-) 1.5	(-) 2.4	51,400	(-) 0.6	8,373	2,576
大 洲	113.6	176	55.2	568	40,165	37,324	(-) 7.8	(-) 7.1	35,300	(-) 8.7	3,960	1,945
川 之 江	123.7	80	90.3	265	34,684	34,947	(-) 3.8	0.8	35,500	0.3	7,203	1,032
伊予三島	101.7	300	98.4	173	38,630	38,071	(-) 3.3	(-) 1.4	37,200	(-) 2.7	8,522	1,326
伊 予	98.1	418	67.0	498	28,611	27,769	(-) 4.8	(-) 2.9	28,300	(-) 1.2	4,088	1,274
北 条	114.6	164	60.9	538	27,736	28,259	(-) 4.9	1.9	27,800	(-) 2.1	1,495	711
福 岡					3,964,611	4,027,414	(-) 1.0	1.6	4,170,000	2.0	816,075	177,780
北 九 州	86.7	549	81.7	357	1,042,388	1,042,319	5.7	(-) 0.0	1,166,800	8.3	246,245	48,762
門 司	67.5	—	73.0	—	153,441	147,468	0.9	(-) 3.9	161,800	2.1	21,866	—
小 倉	86.8	—	104.5	—	325,874	350,426	13.8	7.5	401,900	15.1	132,979	—
若 松	72.4	—	69.6	—	103,656	98,195	(-) 3.1	(-) 5.3	99,400	(-) 0.7	11,342	—
八 幡	92.7	—	81.5	—	353,183	347,063	6.3	(-) 1.7	399,200	8.7	65,155	—
戸 畑	97.7	—	101.0	—	106,234	99,167	(-) 2.3	(-) 6.7	104,400	2.6	14,903	—
福 岡	105.3	287	136.3	13	749,808	853,271	13.4	13.8	929,700	12.7	374,732	30,710
大 牟 田	85.4	558	72.7	445	193,875	175,143	(-) 5.8	(-) 9.7	180,600	(-) 1.7	23,772	10,830
久 留 米	97.7	426	97.4	185	185,732	194,178	2.3	4.5	198,500	5.0	49,915	9,531
直 方	101.2	356	81.2	365	57,839	55,615	(-) 7.0	(-) 3.8	60,800	(-) 2.0	7,666	2,722
飯 塚	107.1	262	89.5	276	82,033	75,643	(-) 21.1	(-) 7.8	56,800	(-) 25.0	16,366	5,071
田 川	100.2	379	60.3	543	74,063	64,233	(-) 22.8	(-) 13.3	49,000	(-) 25.6	7,196	4,528
柳 川	102.0	346	74.6	428	47,549	45,789	(-) 2.3	(-) 3.7	45,400	(-) 4.0	7,830	2,135
山 田	105.9	275	52.0	574	20,235	15,334	(-) 32.9	(-) 24.2	12,600	(-) 33.2	737	1,639
甘 木	104.0	313	88.7	281	44,060	43,259	(-) 4.2	(-) 1.8	45,100	(-) 2.1	6,157	2,281
八 女	97.7	426	76.5	417	39,312	38,847	(-) 4.6	(-) 1.2	39,100	(-) 1.3	4,658	1,842
筑 後	103.6	318	75.7	423	38,966	38,688	(-) 3.7	(-) 0.7	42,400	3.6	5,042	1,751
大 川	95.6	454	80.7	373	51,197	51,637	1.7	0.9	55,200	3.8	7,425	2,815
行 橋	104.3	307	89.9	271	47,495	47,843	0.7	0.7	50,300	1.2	2,952	2,133
豊 前	114.9	160	70.8	459	32,659	32,049	(-) 6.2	(-) 1.9	30,600	(-) 6.6	2,634	1,717
中 間	97.5	430	77.7	404	33,784	33,734	(-) 20.4	(-) 0.1	27,700	(-) 23.1	1,585	1,612
大 分					1,187,480	1,155,566	(-) 4.2	(-) 2.7	1,140,000	(-) 4.8	149,181	48,215
大 分	109.7	223	119.9	48	226,417	260,584	9.3	15.1	261,400	4.9	66,952	8,490
別 府	89.9	529	74.5	429	118,938	123,786	10.4	4.1	163,400	12.5	18,723	4,607
中 津	98.1	418	76.2	417	58,371	57,461	(-) 5.3	(-) 1.6	50,800	(-) 8.4	9,630	2,874
日 田	99.4	394	77.4	407	66,787	64,866	(-) 2.4	(-) 2.9	66,500	(-) 0.2	8,995	2,321
佐 伯	103.8	315	88.6	282	51,145	50,698	(-) 0.4	(-) 0.9	45,500	(-) 10.0	8,694	2,500
臼 杵	95.8	342	69.5	478	42,731	39,890	(-) 5.9	(-) 6.7	39,400	(-) 7.1	6,453	2,238
津 久 見	74.1	584	80.8	372	36,870	33,988	(-) 0.8	(-) 7.8	37,000	1.9	4,434	1,806
竹 田	98.6	407	70.0	470	30,866	27,128	(-) 11.6	(-) 12.1	22,600	(-) 18.9	1,905	1,317
豊後高田	93.7	480	59.2	548	25,138	22,866	(-) 11.1	(-) 9.0	21,500	(-) 6.8	2,150	1,054
杵 築	94.7	464	63.3	520	25,249	23,370	(-) 9.0	(-) 7.4	20,200	(-) 15.3	1,490	1,048
宇 佐	102.5	340	61.4	535	55,370	51,942	(-) 11.3	(-) 6.2	45,800	(-) 13.2	3,718	2,478

第16表 西瀬戸内圏都市の消費購買力

都 市	卸 売 業 年 間 販 売 額 (100万円)				小 売 業 年 間 販 売 額 (100万円)				飲 食 店 年 間 販 売 額 (100万円)			
	43 年	45 年	増 加 率 (%)		43 年	45 年	増 加 率 (%)		43 年	45 年	増 加 率 (%)	
			43/41	45/43			43/41	45/43			43/41	45/43
新 居 浜	27,393	..	43.2	..	19,669	..	49.1	..	1,856	..	105.5	..
西 条	2,454	..	0.4	..	5,927	..	47.6	..	265	..	45.6	..
大 洲	1,511	..	57.2	..	3,466	..	40.0	..	190	..	88.1	..
川 之 江	4,790	..	10.8	..	4,086	..	70.3	..	216	..	61.1	..
伊予三島	14,101	..	19.7	..	5,479	..	47.7	..	293	..	28.5	..
伊 予	4,967	..	13.4	..	2,344	..	41.5	..	107	..	62.1	..
北 条	194	..	(-)51.9	..	2,138	..	43.2	..	87	..	33.8	..
福 岡	2,492,410		12.7		634,215		54.7		61,980		40.6	
北 九 州	454,980	..	7.8	..	190,528	..	57.5	..	18,584	..	34.9	..
門 司	78,668	..	(-)2.8	..	21,785	..	36.2	..	2,756	..	13.7	..
小 倉	231,581	..	10.4	..	77,652	..	62.3	..	8,549	..	41.0	..
若 松	40,240	..	1.6	..	14,738	..	37.8	..	1,087	..	28.4	..
八 幡	80,674	..	14.6	..	55,906	..	61.3	..	4,628	..	37.6	..
戸 畑	23,818	..	11.4	..	20,488	..	73.6	..	1,563	..	44.4	..
福 岡	1,797,479	..	15.1	..	201,422	..	58.9	..	27,114	..	51.6	..
大 牟 田	29,660	..	(-)11.9	..	29,121	..	23.1	..	2,079	..	20.6	..
久 留 米	81,158	..	14.2	..	38,400	..	69.7	..	3,786	..	28.6	..
直 方	14,474	..	11.2	..	12,966	..	94.4	..	886	..	40.6	..
飯 塚	22,968	..	(-)4.7	..	22,100	..	71.7	..	1,726	..	36.7	..
田 川	10,711	..	13.3	..	11,227	..	54.2	..	849	..	33.9	..
柳 川	6,770	..	(-)8.9	..	5,369	..	49.2	..	387	..	22.8	..
山 田	564	..	(-)14.8	..	1,916	..	28.7	..	91	..	44.9	..
甘 木	4,474	..	15.3	..	7,330	..	76.4	..	373	..	34.6	..
八 女	4,533	..	(-)12.8	..	5,067	..	39.3	..	343	..	67.3	..
筑 後	3,584	..	4.1	..	4,100	..	55.3	..	197	..	69.8	..
大 川	11,078	..	3.6	..	4,438	..	37.8	..	221	..	56.7	..
行 橋	3,952	..	11.8	..	7,682	..	50.6	..	522	..	26.6	..
豊 前	2,413	..	13.0	..	3,310	..	67.0	..	166	..	30.7	..
中 間	1,735	..	27.1	..	2,708	..	18.6	..	139	..	16.8	..
大 分	184,560	195,482	30.3	5.9	150,109	200,533	53.1	33.6	10,551	16,226	38.9	53.8
大 分	110,345	107,936	49.5	(-)2.2	46,382	64,956	68.1	40.0	3,264	4,989	39.6	52.8
別 府	21,190	19,159	11.8	(-)9.6	21,047	27,452	31.9	30.4	2,263	4,391	16.0	94.0
中 津	13,491	19,759	8.6	46.5	12,410	16,574	50.6	33.6	963	1,256	52.6	30.4
日 田	10,412	11,394	37.2	9.4	8,993	13,899	35.4	54.6	720	988	59.6	37.2
佐 伯	7,768	11,571	11.1	49.0	10,002	12,490	71.3	24.9	701	801	65.7	14.3
臼 杵	3,325	4,497	(-)2.5	35.2	5,078	6,581	37.8	29.6	289	350	38.2	21.1
津 久 見	1,327	1,770	(-)17.8	33.4	4,258	4,748	53.9	11.5	263	363	12.8	38.0
竹 田	2,753	3,478	(-)6.5	26.3	4,363	5,930	72.9	35.9	225	329	41.5	46.2
豊後高田	2,429	2,773	20.0	14.2	3,012	2,889	53.8	29.1	162	231	54.2	42.6
杵 築	1,237	1,517	13.4	22.6	2,526	3,411	49.9	35.0	56	81	7.6	44.6
宇 佐	4,514	4,808	9.9	6.5	5,330	6,446	50.1	20.9	237	367	6.2	54.9